

総務部

下請法を御存じですか？ ～下請法基礎講習会を開催～

Soumubu

下請法(下請代金支払遅延等防止法)は、製造業からサービス業まで、幅広い事業分野における下請取引について、下請代金の支払遅延や減額など、下請事業者に対する親事業者の不当な行為を規制しています。また、同法は、適用対象となる下請取引を明確に示すとともに、親事業者の禁止行為を具体的に定めており、違反があった場合は簡易な手続で、迅速に改善を求め、下請事業者の利益を守る仕組みとなっています。

沖縄総合事務局では、従来、下請法の厳正な運用を行うとともに、毎年11月の「下請取引適正化推進月間」に「下請取引適正化推進講習会」を那覇市で開催するなど、違反行為の未然防止の観点から、普及・啓発活動に取り組んでいます。

今般、企業のコンプライアンス意識の高まりや、同講習会に参加した方

の要望等を踏まえ、親事業者を対象に下請法の基礎的な内容について入門的な講習を那覇市以外でも新たに行うこととし、去る8月18日(木)に「下請法基礎講習会」を沖縄市(沖縄商工会議所)において開催しました。

講習会では、下請法の適用範囲を始め、同法が親事業者に対して課している発注書面の交付など4つの義務と受領拒否や下請代金の支払遅延など11の禁止事項を具体的な事例を交えて説明するとともに、沖縄地区における下請法違反に対する措置等についても説明を行いました。また、各事業者から多くの質問がされるなど、事業者の皆さんの関心の高さがうかがえました。

なお、当局では、今年度も来る11月に「下請取引適正化推進講習会」の開催を予定しております。また、下請法に関する御相談や御質問も随時受

け付けていますので、以下の相談窓口まで御連絡ください。



講習会の様子

相談窓口

内閣府沖縄総合事務局
総務部公正取引室

TEL:098-866-0049

財務部

東日本大震災の災害査定立会へ職員を派遣

Zaimubu

財務部では、東日本大震災により被災した河川・道路施設等の早期復旧を図るため、東北財務局の要請を受けて、災害査定立会要員を派遣しています。平成23年8月末現在、延べ3名30日間の派遣を行っています。

災害査定立会は、国土交通省等の「災害査定官」が行う実地調査の際に、財政を主管する財務省の立場から財務局(財務部)の職員が「立会官」として、その調査に立ち会うものです。今回は東日本大震災による甚大な被害の発生に鑑み、災害復旧事業の速やかな処理を図るため、財務省と国土交通省等との事前協議により、設計図書的大幅な簡素化、机上査定額の大幅な拡充等の措置が取られており、重点的・効率的な災害査定立会を実施しています。

今回の災害査定立会派遣においては、1週間当たり40件程度、災害復旧

事業の対象であるか、事業費が経済的になっているか、工事費の積算が適正であるか等の確認を行っています。机上査定の適用範囲が大幅に引き上げられたことから、ほとんどが机上査定による写真での確認となっていますが、被災現場での実地査定では、今回の大震災の被害の大きさを改めて実感する光景も目にしています。

財務部では、早期復旧に向けて今後も東北財務局からの要請により、災害査定立会要員の派遣を随時行っていく予定です。



机上査定の模様



被災地の模様(宮城県南三陸町)



担当者から説明を受ける財務部の立会官

農林水産部

6月の食育月間に消費者の部屋特別展示
「食育パネル展」を開催しました

Nourinsuisan

国民が、生涯にわたって健康で、生き生きと暮らすことができるようにするためには、健全な食生活を実践することができる人を育てる「食育」の推進が必要です。

そのため、政府は、国民の食育に対する理解を深めるため、毎年6月を「食育月間」と定め、関係者の緊密な連携・協力を図りつつ、食育推進運動を重点的に実施しています。

沖縄総合事務局では、食育月間の取組として、平成23年6月13日から17日まで、沖縄総合事務局1階行政情報プラザにおいて、「食育パネル展」として、「食事バランスガイド」を活用した食生活の改善普及、日本型食生活の中心となるごはん食の推進、食料自給率等についてのパネル展を開催しました。

展示期間中は約200名の方に来場いただき、パネルやパソコンによる日常の食事バランスのチェックを通じて、「食育」に理解を深めていただきました。



パネル展の様子



パネルを見る来場者の様子

これまでの特別展示の内容など「消費者の部屋」に関する情報は、沖縄総合事務局農林水産部のホームページに掲載されておりますので、是非御覧ください。

http://www.ogb.go.jp/nousui/6523/nousui_syoku_syohui.html

農林水産部

消費者の部屋特別展示
「お米の表示・産地情報伝達に関する展示」を開催しました

Nourinsuisan

JAS法に基づく適正な袋詰精米の表示及び米トレサビリティ法に基づく産地情報の伝達について、より理解を深めていただくため、平成23年6月27日から7月1日まで、沖縄総合事務局1階行政情報プラザにおいて「お米の産地がわかります！」をテーマに、パネルや稲穂等の展示を行いました。

展示期間中は約200名の方に来場いただき、パネルやクイズを通して、お米の表示・産地情報の伝達への理解を深めていただきました。

クイズと一緒にに行ったアンケートの中で、「様々な種類の稲穂などを直接見ることで参考になった。」、「食品表示は大事なので、今後もこのような企画を行ってほしい。」等の貴重な意見を頂きました。

今後とも適正な食品表示、産地情報の伝達の普及啓発に努めてまいります。



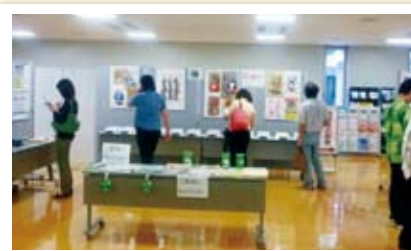
展示会場



パネル展示(米トレサビリティ法)の様子



パネル展示(JAS法)の様子



クイズにも答えていただきました。

これまでの特別展示の内容など「消費者の部屋」に関する情報は、沖縄総合事務局農林水産部のホームページに掲載されておりますので、是非御覧ください。

http://www.ogb.go.jp/nousui/6523/nousui_syoku_syohui.html

農林水産部

消費者の部屋特別展示 「ごはん食・米粉推進のためのパネル展」を開催しました

Nourinsuisan

近年、生活スタイルの変化や食生活の欧米化等により、朝食の欠食による食生活の乱れや、生活習慣病の増加を引き起こしています。また、こうした変化は食料自給率の低下の一因ともなっています。

このような中、沖縄総合事務局では、栄養バランスに優れている米を中心とした日本型食生活の普及や朝ごはんの推進による食生活の改善と、米の消費拡大により食料自給率の向上を推進するため、平成23年7月11日から13日まで、沖縄総合事務局1階行政情報プラザにおいて「ごはん食・米粉推進のためのパネル展」

を開催しました。

パネル展では、日本におけるごはん食の重要性や米粉を使用したレシピの紹介等のパネルを展示する他、「森谷教授の朝ごはんのチカラ」や「めざましごはんキャンペーン(AKB48)」のDVDを上映しました。

展示期間中は約70名の方に来場いただき、ごはん食や米粉について理解を深めていただきました。



パネル展の様子

これまでの特別展示の内容など「消費者の部屋」に関する情報は、沖縄総合事務局農林水産部のホームページに掲載されておりますので、是非御覧ください。
http://www.ogb.go.jp/nousui/6523/nousui_syoku_syohi.html

農林水産部

「沖縄地域6次産業化フォーラム」を開催しました

Nourinsuisan

沖縄における農山漁村の6次産業化の気運を盛り上げるため、平成23年7月26日(火)に那覇第2地方合同庁舎1号館において、初めて「沖縄地域6次産業化フォーラム」を開催しました。

フォーラムでは、三重県伊賀市で6次産業化に先進的に取り組んできた、農事組合法人伊賀の里モクモク手作りファームの吉田専務理事が、「農業を元気にする6次産業を目指して!」と題して講演を行いました。講演では、ファームの活動概要、取組事例、農林漁業者が6次産業化に取り組むに当たっての留意事項などが紹介され、出席した関係者は興味深そうに熱心に聴き入っていました。

講演に引き続いて、本年5月31日に県内から初めて6次産業化法の規定に基づき認定された事業者(農業生産法人)が事業計画の紹介を行った後、沖縄県内の農林漁業者等の6次産業化の取組を総合的に支援する「沖縄6次産業化サポートセンター」(株)おきぎん経済研究所)により、6次

産業化の取組のアドバイス、事業計画の認定申請のサポート、認定後のフォローアップ等を行うプランナー(5名)の紹介が行われました。

フォーラム終了後には、吉田専務理事を囲む座談会のほか、6次産業化サポートセンターやプランナーによる農林漁業者との相談会が行われ、6次産業化に取り組む意欲のある農林漁業者への有用な情報提供や活発な意見交換が行われました。

また、6次産業化を推進していくためには、県内の行政機関・団体・関係者とのネットワーク構築が必要となっていることから、市町村等関係者に対してネットワーク構築に関する説明や協力の依頼を行いました。

フォーラムには、農林漁業者、農林水産関係団体、行政関係者など162名の方に出席いただき、6次産業化に対する関心を高めていただくとともに、6次産業化に取組に当たってのサポート体制や関係機関の協力の必要性を理解していただくことができました。



講演の様子



認定事業者による取組内容紹介



6次産業化プランナーの自己紹介

開発建設部

平成23年度防災訓練(風水害)について

Kaikenbu

開発建設部では、6月15日(水)に、大雨、高潮による風水害を想定した防災訓練を実施しました。例年、台風襲来の時期に関係機関(沖縄県、沖縄气象台、国土地理院沖縄支所、第十一管区海上保安本部、自衛隊、防災エキスパート事務局(沖縄しまて協会)、災害支援協定締結協会(沖縄県建設業協会、日本道路建設業協会沖縄支部、沖縄県舗装業協会)と連携し行っているものです。訓練は、沖縄県内に時間130mm~150mmの集中豪雨があり、道路、ダム、公園、港湾、官庁営繕施設等が被災、冠水したとの想定の下、各支部(各事務所)と本部(本局)で被災状況報告や復旧方法をテレビ会議で決定する訓練を行いました。

また、自治体支援として、沖縄県へのリエゾン(情報連絡担当官)派遣による情報収集及び県からの派遣要請を受け、排水ポンプ車派遣支援やTEC-FORCE隊員の派遣支援訓練を行いました。先の東日本大震災を受け、迅速な情報伝達が重要であるとの認識の下、各現場から防災ヘリや衛星通信、光ケーブルによる通信、無線回線電話や携帯電話等により、現

地被災状況(想定)の災害対策本部への映像配信、状況報告を行うなど非常時に有効な通信手段の確保のため、あらゆる災害対策機器を駆使し、訓練を行いました。日頃の災害対応準備もさることながら、減災に対する意識を再確認したところです。

沖縄総合事務局では今後、地震・津波を想定した防災訓練についても実施を予定しています。



開発建設部

平成22年度開発建設部所管優良業者等表彰式を開催

Kaikenbu

7月19日沖縄総合事務局において、「平成22年度開発建設部所管優良業者等表彰式」を開催しました。

本表彰は、平成22年度に完成したダム、道路、港湾、空港、公園及び官庁営繕の各部門において、建設工事は1,000万円以上の契約238件の中から、測量・設計調査業務等については、500万円以上の契約280件の中から特に優秀な成績を収められた施工業者及び技術者を表彰したものです。竹澤局長は挨拶の中で、「那覇空港に着陸する前に見る沈埋道路の取り付け道路などを見ながら、沖縄県の社会資本整備の充実に感慨を覚えると同時に、これらの整備は皆さんのこれまでの技術や努力の積み重ねの結晶だとも感じた。皆さんの平素の

御尽力と現場での努力も、しっかりとフォローしていきたい。」と述べて、表

彰状を授与しました。



【受賞された皆様】

・優良施工工事部門(6社)・安全施工工事部門(2社)・優良業務部門(5社)
・優秀工事技術者部門(5名)・優秀業務技術者部門(3名)

詳細は以下ホームページを御覧ください。

http://www.dc.ogb.go.jp/kaiken/koji/kaiken_koji_yuuryou.html

開発建設部

庁舎前の草刈りをやろう!～にこにこボランティア誠心～

Kaikenbu

身にこたえる暑さが続いています。が、庁舎周りの雑草は暑い日射しを受け、元気いっぱい伸び放題となっています。近年、道路の維持管理費が削減され、道路の除草回数も激減したため、沖縄県内においても見苦しい状況があちこちで見受けられ、沖縄総合事務局庁舎前の植栽帯も例外ではありません。

そういう状況の中、職場周りの植栽帯の草刈りを自ら行い、環境を良好にすること、また、にこにこボランティア誠心で少しでも地域に貢献することをモットーに、開発建設部有志メンバーで構成する「明るい職場を作ろう会」が立ち上がりました。昨年12月にも第1回目として草刈りを行いました。今年も6月28日に昼休みの

時間を利用して自主的な「草刈り」を実施しました。

事前に開発建設部内で参加者を募ったところ、同部以外の部からも応援があり総勢80人集まりました!多くが普段カマを持ったことのない素人集団ですが、あっという間にきれいになりました。参加した皆さんが一生懸命汗を流す姿は非常に爽やかでした。

ちなみに、この日の活動では大きめのビニール袋で30袋ほどにもなりました。

小さな活動ではありますが、職員の「にこにこボランティア誠心」で今後も少しでも地域の環境を良くできればいいなと考えています。

■ 明るい職場を作ろう会 ■



運輸部

平成23年『海の月間』について

Unyubu

四方を海に囲まれている我が国は、輸出入貨物の大部分を海上輸送に頼るなど様々な形で海と深く関わって発展してきました。

「海の日」は、このような海の恩恵に感謝し、海を大切にする心を育むことを目的に平成8年に制定され、この「海の日」の意義を広く理解していただくため、7月を「海の月間」とし、全国各地において多彩な行事が展開されています。当局管内においても「那覇観光キャンペーンレディによる一日船長任命式」、「那覇港みなと魅力発見」、「ビーチウォーク&クリーンアップ大作戦」、「中学生海の絵画コンクール」等の行事が行われました。

「ニューくめしま」の一日船長を務めた那覇観光キャンペーンレディの稲嶺珠仁香さんは「船の旅は私達に夢とロマンを与えてくれます。今後とも

安全航海に努めていただき、明日を担うシーマンとして頑張ってください。」と、船員や関係者に向けてメッセージを送りました。

この他、「海事関係功労者表彰式典」を21日に那覇市内のホテルで開催し、海運、優良船員、海洋環境保全関係者等21名を表彰しました。

また、同式典において「中学生海の絵画コンクール沖縄地方展」受賞者への表彰も行い、沖縄総合事務局長表彰・金賞受賞の新垣舞さんを始め、10名の中学生を表彰しました。



一日船長の稲嶺珠仁香さん



那覇観光キャンペーンレディによる一日船長任命式



海事関係功労者表彰式典